

平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社鴨川グランドホテル 上場取引所 東
 コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)四野宮 章 (TEL) 04(7094)5581
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	655	△30.3	△133	—	△163	—	△165	—
30年3月期第1四半期	939	3.5	△12	—	△25	—	△21	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△18.50	—
30年3月期第1四半期	△2.44	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	5,919	958	16.1	39.58
30年3月	6,294	1,127	17.9	58.57

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 953百万円 30年3月期 1,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成31年3月期の業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,450	△33.5	△200	-	△230	-	△240	-	△26.85
通期	3,165	△21.9	△270	-	△350	-	0	△100	0.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記（3）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の摘要）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年3月期1Q	10,453,920株	30年3月期	10,453,920株
31年3月期1Q	1,514,075株	30年3月期	1,514,075株
31年3月期1Q	8,939,845株	30年3月期1Q	8,939,846株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	0.00	0.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、全体的には緩やかな回復基調をたどっているものの、米国の政治リスクによる世界経済の不確実性等、景気の先行は依然として不透明な状況が続いております。

リゾートホテル業界におきましても、海外旅行が増加傾向を示すとともに、国内旅行も訪日外国人客の増加に支えられて堅調に推移いたしました。

そのような状況の中で当社は、主力施設であります鴨川グランドホテルが耐震改修工事とバリューアップ工事に伴い長期の休館を余儀なくされる中、その他の事業所にて業績をカバーすべく販売力の強化と収益の確保に取り組んでまいりました。

販売力強化につきましては、インターネット販売の一層の充実を図るため、ネット業者との提携強化や商品開発に努めました。また、収益の確保につきましては、鴨川グランドホテルから他事業所を応援させる等人員の有効活用に注力するとともに経費の圧縮に取り組みました。

その結果、当第1四半期会計期間の営業収益は655百万円と前年同四半期と比べ284百万円(30.3%)の減収となり、営業損失133百万円(前年同四半期は12百万円の損失)、経常損失163百万円(前年同四半期は25百万円の損失)、四半期純損失165百万円(前年同四半期は21百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ375百万円減少し、5,919百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ882百万円減少し、561百万円となりました。これは主に、現金及び預金が763百万円及び売掛金が109百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ507百万円増加し、5,357百万円となりました。これは主に、建物が54百万円減少したものの、建設仮勘定が578百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ183百万円減少し、3,967百万円となりました。これは主に、買掛金が44百万円及び未払費用が45百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ22百万円減少し、992百万円となりました。これは主に、長期借入金金が10百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ169百万円減少し、958百万円となりました。これは主に、四半期純損失165百万円の発生によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、ホテル関連の鴨川グランドホテルの耐震補強工事及びバリューアップ工事に伴う長期休館と地震に関する報道等の影響が出ておりますが、第2四半期累計期間及び通期業績予想は先般リリースいたしましたとおりでございます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,133,388	369,419
売掛金	202,358	92,843
たな卸資産	43,556	37,801
未収入金	2,424	2,284
その他	63,054	59,530
貸倒引当金	△20	△9
流動資産合計	1,444,762	561,869
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,034,330	12,016,151
減価償却累計額	△8,953,293	△8,989,166
建物(純額)	3,081,036	3,026,984
構築物	514,509	514,509
減価償却累計額	△471,699	△472,325
構築物(純額)	42,810	42,184
機械及び装置	234,266	234,266
減価償却累計額	△173,468	△174,724
機械及び装置(純額)	60,797	59,542
車両運搬具	11,256	11,256
減価償却累計額	△10,510	△10,543
車両運搬具(純額)	746	712
工具、器具及び備品	835,200	833,760
減価償却累計額	△750,311	△751,334
工具、器具及び備品(純額)	84,889	82,425
土地	1,069,153	1,067,778
リース資産	154,401	154,953
減価償却累計額	△96,000	△100,748
リース資産(純額)	58,401	54,205
建設仮勘定	89,041	667,525
有形固定資産合計	4,486,876	5,001,358
無形固定資産		
投資その他の資産	35,798	34,051
投資有価証券	123,316	117,352
差入保証金	169,703	169,603
保険積立金	12,229	13,730
その他	30,580	30,148
貸倒引当金	△8,894	△8,894
投資その他の資産合計	326,935	321,941
固定資産合計	4,849,610	5,357,351
資産合計	6,294,373	5,919,220

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,399	43,360
短期借入金	3,049,268	3,036,278
1年内返済予定の長期借入金	491,374	488,201
未払金	13,745	9,322
未払費用	259,760	214,567
未払法人税等	20,902	4,468
未払消費税等	40,305	21,082
賞与引当金	48,195	21,158
その他	139,701	129,139
流動負債合計	4,150,652	3,967,577
固定負債		
長期借入金	295,608	285,183
繰延税金負債	11,747	9,887
退職給付引当金	143,928	142,344
役員退職慰労引当金	42,620	42,620
長期預り保証金	456,144	452,994
その他	65,831	59,914
固定負債合計	1,015,880	992,944
負債合計	5,166,532	4,960,522
純資産の部		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△24,218	△189,597
自己株式	△5,320	△5,320
株主資本合計	1,095,810	930,431
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,806	23,403
評価・換算差額等合計	27,806	23,403
新株予約権	4,224	4,863
純資産合計	1,127,841	958,698
負債純資産合計	6,294,373	5,919,220

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
営業収益	939,942	655,261
営業費用	952,227	789,066
営業損失(△)	△12,285	△133,805
営業外収益		
受取保険金	1,172	1,586
助成金収入	330	-
その他	4,275	4,393
営業外収益合計	5,778	5,979
営業外費用		
支払利息	19,298	18,809
休止固定資産減価償却費	-	16,269
その他	58	118
営業外費用合計	19,357	35,196
経常損失(△)	△25,864	△163,023
特別利益		
補助金収入	8,400	-
特別利益合計	8,400	-
特別損失		
固定資産除却損	256	247
特別損失合計	256	247
税引前四半期純損失(△)	△17,721	△163,270
法人税、住民税及び事業税	4,070	2,108
法人税等合計	4,070	2,108
四半期純損失(△)	△21,791	△165,378

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期会計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	763,148	149,056	912,204	27,737	939,942	—	939,942
セグメント利益 又は損失(△)	6,862	1,531	8,393	△2,070	6,323	△18,608	△12,285

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△18,608千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	490,003	139,313	629,317	25,944	655,261	—	655,261
セグメント損失(△)	△109,552	△6,838	△116,390	△239	△116,630	△17,175	△133,805

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△17,175千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。